



入所者を代表して誓いの言葉を述べる
古内和真さん(19歳・大船渡市出身)Ⓜ

目標実現に向け新たな決意 山地酪農研修センター入所式

第26期の山地酪農研修センター入所式は4月8日、くずまき交流館プラトーで行われました。研修生は、町内出身者5人、県内3人、20日に入所したフィリピンから来た2人を合わせた10人で、このうち7人が新たに入所しました。

入所式で中村町長は「現場は体力を伴う厳しさがあるが、乗り越えたとき心身共に鍛えられる。自分の長い人生の中で宝物と思えるものを研修で構築してもらいたい」と激励しました。

研修生は1年間、自分の希望に応じて、畜産、製造、交流、総務の4部門で研修します。

オープンデーは大にぎわい 森と風のがっこうの新学期

4年目の開催となる「子どもオープンデー・遊びとまなびの子どもワークショップ」(岩手子ども環境研究所、町教委主催)は4月16日、上外川地区の森と風のがっこうで始まりました。

ワークショップは、11月までの第2土曜日に開かれ、子どもたちは町内中学生を含む大学生ら23人の運営スタッフとともに、自然の中で思いっきり遊びを満喫します。天候に恵まれたこの日は、町内外の小学生29人が参加しました。ここでの自分の呼び名を決め、自己紹介を終えると、3班に分かれてゲームや鬼ごっこなどで楽しみました。



班に分かれ、ゲームを楽しむ子どもたち

行政相談に貢献し5年 村木嶺夫さんに感謝状

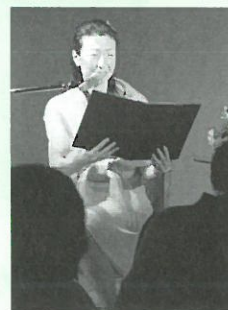


岩手行政評価事務所長から感謝状を贈呈される村木さんⓂ

3月まで行政相談員を務めた村木嶺夫さん(68歳・新町)に、4月22日、総務大臣の感謝状が贈呈されました。

村木さんは、平成12年4月から国などの行政に対する相談業務に尽力されました。

情景広がる小説の世界 樹原ゆりさんの朗読会



小説「角笥にて」を朗読する樹原さん

樹原ゆりさんの朗読会(元美女と野獣の会主催)は4月11日開かれ、町民約30人が朗読の世界にひたりました。樹原さんは浅田次郎作の小説2編を朗読。場面を引き立てるBGMが流れる中、劇のせりふのように感情を込めた語りで、聞き手を魅了しました。